

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で17 ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。文字は楷書で丁寧に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1 のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> 0
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次の文章A～Cを読んで、後の問に答えなさい。

A 縄文時代には、気候の温暖化にともない植物資源の利用が拡大した。縄文時代の人々が、一部の植物の管理や栽培を行っていたことも判明している。しかし、本格的な農耕の段階には達しておらず、基本的には植物採取と狩猟、漁労を中心とした生活が営まれていた。また、縄文時代の人々は、あらゆる自然物や自然現象に霊が宿ると考え、それを畏怖、崇拝した。こうした原始信仰を という。

その後、弥生時代の前期には西日本一帯に水稻農耕が広まり、やがて東日本へと伝わった。水稻農耕の普及は安定した収穫をもたらし、人々の生活を大きく変えたが、耕地や灌漑水の確保をめぐる集落間の対立や、収穫物をめぐる争いを引き起こすことにもなった。弥生時代に防御用の施設をもつ が見られることも、利害対立による争いが発生していたことを反映している。

また、弥生時代のまつりには、 や銅矛などの青銅製祭器が用いられたが、近畿地方を中心に が、九州北部を中心に銅矛が分布するなど地域差が認められる。

古墳時代には、民衆の住む集落から離れた場所に豪族が大規模な居館を構えるなど、民衆と豪族の生活が明確に分離した。古墳時代の人々は農耕に関する儀礼を重視し、豊作を祈る春の祈年の祭や、収穫を感謝する秋の新嘗の祭を執り行った。また、災害を免れるための禊・祓や、熱湯に手を入れて、手がただれるかどうかで真偽を確かめる などの呪術的風習も行われた。

問 1 下線部①に関連して、縄文時代の人々の生活についての記述として不適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 海水面が上昇し、魚介類の生息に適した入り江が多くなった結果、漁労が活発となった。
- ② シカやイノシシなどの中小動物を狩猟するために、弓矢や落とし穴がさかんに利用された。
- ③ 土を掘る打製石斧や、木の実などを割ってすりつぶす石皿やすり石が使われた。
- ④ 竪穴住居にはカマドが設けられ、土器を用いて炊事が行われた。

問 2 空欄 に入る語句をカタカナで記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 3 下線部②に関連して、弥生時代の水田が発見された遺跡として適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 群馬県黒井峯遺跡
- ② 群馬県岩宿遺跡
- ③ 青森県三内丸山遺跡
- ④ 青森県垂柳遺跡

問 4 弥生時代の水稻農耕に関する記述として不適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 弥生時代中期末から後期になると、鉄鎌や鉄製の刃先をもつ鍬や鋤があらわれるなど農具の鉄器化が進んだ。
- ② 収穫には穂首を刈り取る石包丁が用いられ、収穫物は高床倉庫や貯蔵穴に納めて管理された。
- ③ 弥生時代前期には小規模な乾田の比重が高いが、中・後期になると生産性の高い湿田の開発が進められた。
- ④ 水稻農耕は北海道や南西諸島では受容されず、両地域では食料採取文化が引き続き展開した。

問 5 空欄 に当てはまる語句として適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① A 環濠集落 B 銅剣
- ② A 環濠集落 B 銅鐸
- ③ A 環状集落 B 銅剣
- ④ A 環状集落 B 銅鐸

問 6 下線部㉔に関連して、5～6世紀の豪族居館が発見された遺跡として適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 佐賀県吉野ヶ里遺跡
- ② 香川県紫雲出山遺跡
- ③ 群馬県三ツ寺I遺跡
- ④ 奈良県纏向遺跡

問 7 空欄 に入る語句を、漢字4文字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

B 701(大宝元)年、藤原不比等や 等によって大宝律令が完成し、律令にもとづく国家体制が整備された。律令体制下では、戸籍にもとづいて6歳以上の男女に口分田が班給され、租税が課された。

その後、貴族・寺社の土地占有や人口増加などにより、口分田が不足してきたため、政府は722(養老6)年には百万町歩開墾計画、その翌年には を発して開墾を奨励した。さらには、743(天平15)年に墾田永年私財法を制定し、一定の限度内で開墾地の私有を永年にわたって保障するにいたった。

問 8 空欄 にあてはまる人名として適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 石上宅嗣 ② 早良親王 ③ 大津皇子 ④ 刑部親王

問 9 空欄 にあてはまる法令の名前を、漢字5文字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問10 下線部①に関連して、この時期の土地制度に関する説明として不適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 口分田は売買が認められ、本人が死ぬと6年ごとの班年に収公された。
- ② 租は口分田などの収穫から約3%の稲をおさめるもので、おもに諸国において貯蔵された。
- ③ 田地には、条里制により方形区画の地割が施行されるようになった。
- ④ 口分田は良民の男性には2段、良民の女性にはその3分の2が班給された。

問11 文章Bの時期における民衆の負担に関する記述として、不適切なものを次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 絹・布や地方の特産物を中央政府におさめる調・庸は、主に正丁に課され、それを都まで運ぶ運脚の義務もあった。
- ② 田地は、名という徴税単位に区分されて課税が行われた。
- ③ 国家が稲を貸し付け、収穫時に高い利息とともに徴収する出挙があった。
- ④ 兵士として徴発された場合、兵士の武器や食料は自弁が原則であった。

C 鎌倉時代の武士は、平安時代の開発領主の系譜を引き、領内の重要な拠点に土塀や堀、土塁などで囲んだ館をかまえた。周辺には、年貢や公事を免除された直営地をもち、これを下人や所領内の農民を使って耕作させていた。

一族は宗家の首長である を中心に結束し、一族の武士である庶子たちは所領を分け与えられた。 は、氏神や祖先をまつり、庶子たちを統率して軍役や番役をつとめた。このような族的結合にもとづく支配体制を 制という。

問12 下線部③に関する記述Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- Ⅰ 支配権を拡大しようとする武士たちは、荘園・公領の領主や近隣武士との間で、年貢の徴収や境界問題をめぐってたびたび紛争をおこした。
- Ⅱ 武士は、武芸を身につけることが重視され、流鏑馬・笠懸・犬追物などの訓練を行っていた。

- | | | | | | |
|---|-----|------|---|-----|------|
| ① | I 正 | II 正 | ② | I 正 | II 誤 |
| ③ | I 誤 | II 正 | ④ | I 誤 | II 誤 |

問13 空欄

エ

 に入る語句を、漢字2文字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

田沼意次が外国貿易(ロシア)をも視野にいれて重商主義的政策を主導した幕閣要人だったと知れば、その人柄は進取的で合理的な人物であろうと想像してしまう。当時も、意次が周囲にあたえる印象は「発明」(利発)というものであった。田沼政治に敵対しながら登場した松平定信も、和漢に通じた学者で多くの著作を残しており、寛政の改革を主導して海防策を講じた老中だと知れば、^③ 理知的・道徳的な人柄が思い浮かぶ。(中略)

1786(天明6)年8月27日、將軍 死去から二日後に、責任をとらされる空気のなかで、^④ 老中を68歳で辞するまでの田沼意次は、ひたすら上昇の人生を歩んだ。もちろん日々の労苦は山ほどあったろうが、蹴落とされることはなかった。また他人を蹴落として役職をえるという不快な経験もなかった。前年の1785(天明5)年1月には、67歳にしてなお一万石加増され、合計5万7000石の中級譜代大名になった。意次は、この年齢になっても側用人兼務の老中職を現役でつとめていた。^⑤ 16歳で世子 (九代將軍)付きの西丸小姓になって蔵米300俵を拝領して以来、半世紀以上も江戸城の中で働き続けている。隠居しなくても、嫡子の は奏者番に昇進し、さらに若年寄に進む。しかし、同氏は1784(天明4)年に江戸城中で斬られ、それが原因となり死去した。^⑥
(深谷克己『田沼意次』2016年、山川出版社。なお、出題の都合上、一部、省略したり改変を加えたりした。)

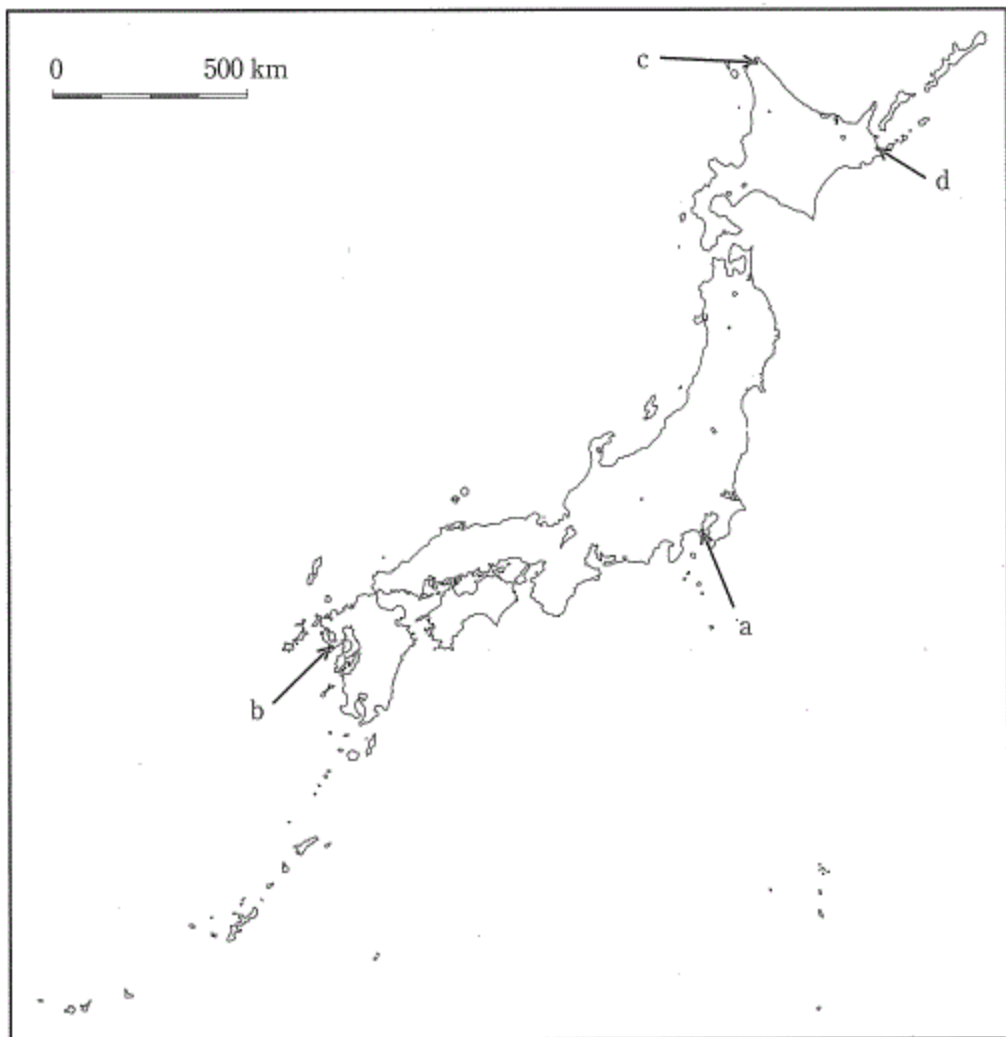
問1 下線部③に関連し、田沼意次が実権を握っていた時期の事柄について述べた文として誤っているものを次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号)

- ① 株仲間を公認し、冥加金を徴収した。
- ② 銅や俵物を輸出し貿易振興を図った。
- ③ 新田開発の一環として印旛沼干拓工事を推進した。
- ④ 工藤平助の『海国兵談』に刺激され、蝦夷地に調査隊を派遣した。

問 2 下線部⑥に関連し、日露関係について述べた次の文X・Yと、それに該当する下の地図上の位置a～dとの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号 11)

X レザノフが通商を要求しこの地に来航した。

Y ラクスマンがこの地に来航し、通商を要求した。



① X - a Y - c

② X - a Y - d

③ X - b Y - c

④ X - b Y - d

問 3 下線部㉓に関連し、松平定信の著作として適切なものを次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号)

- ① 『孝義録』 ② 『宇下人言』 ③ 『西洋紀聞』 ④ 『藩翰譜』

問 4 下線部㉔に関連し、寛政の改革の取り組みとして適切なものを次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号)

- ① 備荒貯蓄を目的に1万石に100石の割合で囲米を実施するように命じた。
② 旗本、御家人救済のため徳政令を發布し、札差の借金を破棄させた。
③ 緒方洪庵の意見を聞き入れ、寛政異学の禁を発した。
④ 江戸石川島に人足寄場を設置した。

問 5 空欄 に入る人名を漢字四文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 6 下線部㉕に関連し、老中の役割として適切なものを次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号)

- ① 将軍直属の譜代大名より選任され、寺社奉行、勘定奉行と共に三奉行の一つとされる。
② 幕府最高の職。常置ではなく、非常のときに設置。10万石以上の譜代大名より選任された。
③ 幕政監察の職。旗本より選任され、大名監察にもあたる。
④ 幕府政務を統轄。2万5000石以上の譜代大名から選任された。

問 7 下線部㉑に関連し、譜代大名でない人物を次の選択肢①～④の中から一つ
選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号 15)

- ① 水野忠邦 ② 松平信綱 ③ 新井白石 ④ 阿部正弘

問 8 下線部㉒に関連し、側用人に関して述べた下の文 a～d について、正しい
ものの組み合わせを、下の①～④のうちから一つ選びマークしなさい。解答
用紙(その1)を用いること。(解答番号 16)

- a 柳沢吉保は徳川家綱の側用人として活躍した。
b 間部詮房は徳川家宣の側用人として活躍した。
c 牧野成貞は徳川綱吉の側用人として活躍した。
d 大岡忠光は徳川吉宗の側用人として活躍した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 9 空欄 イ に入る人名を漢字四文字で答えなさい。解答用紙(その2)
を用いること。

問10 下線部㉓に関連して、江戸時代の米について述べた X・Y と、それに該当
する語句 a～d との組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうち
から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。(解答番号
17)

X 諸藩・旗本などが年貢米や国産物(蔵物)を販売するためにおいた倉庫兼
取引所

Y 蔵米に対し民間商人の手を経た米

- a 蔵屋敷 b 問屋 c 赤米 d 納屋米

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

問11 下線部①に関連して、江戸城について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答用紙(その1)を用いること。(解答番号 **18**)

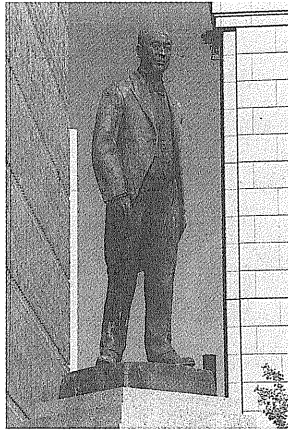
- Ⅰ 振袖火事ともいわれたこの大火によって、江戸城も類焼した。
- Ⅱ 赤穂藩主浅野長矩が高家吉良義央を江戸城内で斬りつけ切腹となる。
- Ⅲ 藤井右門が山県大弐と甲府・江戸城攻撃の軍略を述べたことなどを理由に両人が死刑となる。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問12 空欄 **ウ** に入る人名を漢字四文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問13 下線部①に関連し、田沼意次の嫡子を斬りつけた人物の名前を漢字四文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

Ⅲ 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。



写真は、東京駅前に立つ井上勝^{まさる}という人物の銅像である。彼は1843年に長州藩士の子として生まれた。若い時期から蘭学に親しみ、1859年には幕府の洋学教授所であった [ア] で航海術を学んだこともあった。やがて留学を志し、1863年には藩の密命により国禁に反するのを承知でイギリスへ渡航した。同じく長州出身であった [イ] ^①、井上馨、山尾庸三、遠藤謹助もこのときに渡英したが、彼らはいずれも明治期に政府の要人となったことから「長州五傑」または「長州ファイブ」と呼ばれている。

彼らのうち、 [イ] と井上馨はわずか7か月の滞在で帰国した。しかし、西洋社会を実見したことは、かつて攘夷論者であった二人の考え方を大きく変えた。帰国後は共に藩内での政治的地位を上昇させ、維新後は明治政府で総裁・議定と並ぶ三職の一つに数えられた [ウ] ^② となった。以後も有力政治家としての道を歩み、晩年は元老^③に列せられた。一方、井上勝ら3名は引き続きイギリスにとどまって専門技術を習得し、帰国後は明治政府の官僚としてその手腕を発揮した。

井上勝は、ロンドンの大学で学びながら鉱山や鉄道を多く実見した。1865年にはこれも密航であった薩摩藩の遣英使節団がロンドンに到着したが、このとき、のちに初代文部大臣となる [エ] ^④ らと出会っている。1868年に大学を修了して帰国し、翌年新政府に出仕した。1870年に設置された [オ] 省に

おいては鉄道頭てつどうのかみに任ぜられ、以後は同省鉄道局長や内閣⑤鉄道局長官などを歴任し、1893年に退官するまで鉄道行政のトップにあり続けた。□カ□が駅舎を設計した東京駅は1914年の開業であるが、その正面に銅像があるのは、こうした功績のためである。⑥

山尾庸三はロンドンで土木工学を学んだのち、スコットランドのグラスゴーで造船技術を学んだ。帰国後新政府に出仕し、最初の□オ□卿となった□イ□とともに□オ□省の設置に尽力した。人材育成のために同省に設置された工学寮は1877年に□キ□と改められ、のちに帝国大学工科大学の母体となった。1880年には□オ□卿に就任したが官業⑧払下げが日程にのぼると山尾は同省を去ることとなった。1885年には新設の法制局長官となったものの本来の専門性を活かす機会に恵まれず、その後もいくつかの官職に就いたが1898年に退官した。

遠藤謹助はロンドン在留中に体調を崩したため井上勝および山尾よりも一足早い1866年に帰国した。維新後は通商司という外国貿易にかかわる官庁にあったが、1870年に□ク□省所属の造幣寮に転じ、貨幣鑄造の専門官僚として貨幣制度⑨の確立に寄与した。1881年には造幣局長となったが、1886年に退職した。

*文中の人物には明治維新前後で名を変えているものも含まれるが、ここでは便宜上すべて維新後の姓名で統一した。解答もそれに従うこと。

問1 空欄□ア□～□ク□に入る語句を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を使用すること。

問 2 下線部①に関連して、井上馨について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 19)。

- ① 条約改正を目指して欧化政策をとり、日比谷に国際社交場としてイギリス人コンドルの設計による鹿鳴館を建設させた。
- ② 外務卿としてまた初代の外務大臣として条約改正を目指し、1882年から相手国を交えた予備会議を、1886年からは本会議を開催した。
- ③ 条約改正に関しては、領事裁判権の撤廃と関税率引き上げの見返りとして、ヨーロッパに範をとった法典の整備と外国人判事の任用を認める方針をとったが、内地雑居については反対した。
- ④ 井上の条約改正案に対して、農商務大臣であった谷干城や政府の法律顧問であったフランス人ボアソナードらが反対した。

問 3 下線部②に関連して、攘夷運動について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 20)。

- ① ハリスのオランダ人通訳官であったヒュースケンは江戸麻布の善福寺に置かれていたアメリカ公使館に帰る途中、薩摩藩士らに襲撃され死亡した。
- ② 1861年、水戸藩浪士が江戸高輪の東禅寺に置かれていたイギリスの仮公使館を襲撃した。
- ③ 1862年、長州藩の行列の従士が横浜近郊の生麦でイギリス人を殺傷した。これがきっかけとなってイギリスとの間の戦争に発展した。
- ④ 高杉晋作らは品川御殿山に建築中のイギリス公使館を襲撃して全焼させたが、そのなかには井上馨や山尾庸三も加わっていた。

問 4 下線部㉓に関連して、次の選択肢の中から元老に含まれない人物名を一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 **21**)。

- ① 松方正義 ② 板垣退助 ③ 黒田清隆 ④ 西園寺公望

問 5 下線部㉔に関連して、薩摩藩出身者について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 **22**)。

- ① 厳しい財政緊縮政策をとった松方正義は、最後の大蔵卿であるとともに最初の大蔵大臣を務めた。
- ② 山本権兵衛は、1913年に内閣総理大臣に就任すると軍部大臣現役武官制を廃止した。
- ③ 三島通庸は福島県令のときに福島事件を弾圧し、ついで埼玉県令のときに加波山事件を弾圧した。のちに警視総監として保安条例の執行を主導した。
- ④ 五代友厚は明治維新後、大阪を拠点として実業界で活躍したが、開拓使の官有物を自らが経営する関西貿易社で安価に取得する計画が世論の批判を招いた。

問 6 下線部㉕に関連して、内閣制度について述べた文のうち、正しいものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 **23**)。

- ① 内閣は、太政官制を廃止して1885年に創設された、国家の行政機関である。
- ② 大日本帝国憲法において、内閣総理大臣および国务大臣は天皇に対して連帯して責任を負うこととされた。
- ③ 大日本帝国憲法下において、宮内大臣は内閣の構成員であったが内大臣は閣外におかれた。
- ④ 政党内閣とは議会内で多数を占める政党により組織された内閣であり、1918年に成立した原敬内閣が最初であったとされる。

問 7 下線部㉑に関連して、1914年の出来事として誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 **24**)。

- ① 第一次世界大戦に日本が参戦し、ドイツが占領していた青島を攻略した。
- ② ドイツのジーメンス社が日本海軍に贈賄していたことが発覚した。
- ③ 横山大観や下村観山らが日本美術院を再興した。
- ④ 全国中等学校優勝野球大会が始まった。

問 8 下線部㉒に関連して、官業およびその払い下げについて述べた文のうち、正しいものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 **25**)。

- ① 明治政府は幕府が経営していた佐渡金山、生野銀山、足尾銅山を継承し、官営の模範事業として近代的な鉱山業に発展させたのちに払い下げを行った。
- ② 明治期の官営の鉄道の中にも、民間への払い下げが行われたものがあった。
- ③ 明治政府の持っていた造船所のうち、長崎造船所は1887年に岩崎弥太郎(三菱)に払い下げられたが、兵庫造船所と横須賀造船所は官営のまま軍工廠となった。
- ④ 富岡製糸場は1893年に三井家に払い下げられ、1987年に操業を停止するまでその下で経営された。

問 9 下線部㉓に関連して、貨幣制度について述べた文のうち、正しいものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。(解答番号 **26**)。

- ① 明治政府が発行した紙幣はすべて兌換紙幣であり、不換紙幣はなかった。

- ② 新貨条例の制定で金本位制が採用されたが、実態は金銀複本位制と言ってよい状態であった。
- ③ 明治政府はすべての紙幣を大阪に設置した造幣寮で印刷した。
- ④ 1885年に発行が開始された日本銀行券は、政府が発行する銀兌換の可能な紙幣であった。